



笑顔! 笑顔! 笑顔! 学校だより

平戸市立山田小学校 校長 松尾 一 知
NO. 16 令和元年 8月9日 発行

《残暑お見舞い申し上げます》

今年の夏も、酷暑が続いています。熱中症の報道も連日あっています。それでも、昨日8月8日は『立秋』でしたので、暦の上では『秋』ということになります。44日の長い夏休みも、折り返しです。今日の登校日を機会に、夏休み前半の振り返りと後半の過ごし方を考えてほしいですね。

《8月9日は『長崎原爆の日』》

今年の夏も、8月9日を迎えました。74年前の午前11時2分、長崎市浦上地区の上空で炸裂した原子爆弾がもたらした大惨劇。直接亡くなった方、約7万4千人。原爆死没者名簿に記載された方、現在18万人弱。さらに、この数字だけでは語りつくせない数々の被害、苦しみ。この事実を長崎県に生まれ、生活している私たちは、しっかりと知り、平和を維持するために必要なことを学び、考え、伝えていかななくてはなりません。

本校でも、1学期に各学年で、資料を見たり、戦争や平和に関する図書を読んだりして『平和学習』を行いました。そして、1学期の平和学習を受けての平和集会。10時20分過ぎからパソコン室で行いました。運営集会委員会のはじめの言葉に始まり、校長の話、その後、各学年から平和学習で学んだことや平和への願いの発表が行われました。学年発表のもう少し詳しい内容は、次号でお伝えできたらと考えています。さらに『おりづる』の合唱をし、11時2分には全員で黙とうを行いました。

私の母や祖母も、当時長崎市浦上地区に住んでいたのですが、幸いにもちょっと離れた山の方の親戚の所に逃げていたので、死ぬことはなかったのですが、母は今も原爆手帳を持っています。母がその時亡くなっていたら、私は今生きていませんし、生まれてくることもありませんでした。戦死した方等のことも含めて、繋がるべき命が繋がらなかった事例、幸いにも命が繋がった事例、たくさんあると思います。

恐ろしい戦争、恐ろしい爆弾。現在も世界では戦争が行われているところがあります。ここ1、2年でも、戦争・紛争・内乱等は、約50あります。そのうち4件は、ここ1年ぐらいいだけでも1万人以上の死者が出ていますし、何年も十何年も続いているものもあります。戦争は、テレビや映画、ゲームの中のことでなく、今でも行われていますし、原爆の何十倍以上の威力をもつ爆弾が今も世界に存在し続けています。

被爆者や戦争経験者、戦争被害者の方は、年々少なくなってきました。体験を通じた心からの叫びとして、戦争の理不尽さを伝えられる方々が少なくなっています。そういう時代であるからこそ、これからの時代を担う子供たちにしっかりと平和への思いを引継ぎ継承していかななくてはなりません。あってはならない歴史を繰り返さないためにも、過去の出来事を忘れ去ってはいけません。御家庭でも、今日の日、8月9日を大切に、子供たちと平和について話し合ってみてください。

《その他》

○ 以前お知らせしておりましたように、8月10日(土)～15日(木)は学校閉庁日です。職員不在ですので、よろしくお願いします。

○ 約3週間ぶりに会った子供たちの生き生きとした様子を見て、夏休みを元気に過ごしていることがうかがえました。夏休み後半も、安全な過ごし方について、引き続き御家庭での御指導をよろしくお願い致します。

さて、夏休み明け、登校しづりや体調不良など精神的に不安定になる子供を見掛けることがよくあります。それは、多分に夏休みの自由な生活から規則正しい生活への不適応と、宿題等課題を済ませていないことへの不安が要因と考えられています。

そこで、そのような事態を避けるために、ぜひ次の2点について、御家庭での御指導をお願いします。

- ① 日課表に沿った規則正しい生活を送らせる。
- ② 計画的に課題に取り組ませる。

校訓 「誠」 「愛」 「勇」

○ 7月28日の競漕船大会へ山田小児童チームも参加しました。息の合った漕ぎ方で見事、小学生の部で1位となりました。また、開会式では、5、6年の鼓笛隊が参加し、素晴らしい演奏で盛り上げてくれました。

1位：トビウオYAMADAチーム

6年 蜜山リアナ，橋口真奈美，橋口未和

5年 大浦陽斗，神田七海，近藤美友，田中杏奈，田中偉喜，吉江春翔

5年 『大人になれなかった弟たちに・・・』絵本

食べるものがなく，貧しくてつらくて苦しい時代のこと，家族が揃わない悲しい苦しみに付いて考えたことやこれからの自分の生き方について考えたことを発表